

2023年3月29日発行

2022年度第3号

三育だより

学校法人三育学院 東京三育小学校

〒177-0053 練馬区関町南2-8-4

TEL 03-3920-2450

URL <https://www.tokyosaniku.ed.jp/>



校訓「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」(口語訳聖書)

「平和を創り出す人 Peacemakers」

学校長 平田 理(ひらた まこと)

卒業にあたり皆様は『29ピースのパズル』というテーマの下、祈禱週で個性的に証しされました。パズルの1ピースPieceと平和のピースPeaceの意味が込められた素敵なテーマです。献身のみ言葉として『平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。』(マタイによる福音書5章9節)を選びました。誰もがおだやかで平和な時間を求めています。周囲を見渡すと不安なこと、恐ろしいことが次々と起き、平和と平安は吹き飛んでしまいそうです。この「平和を実現する」「創り出す」とは、何を意味するのでしょうか。世界中にある戦争や争いごとを無くすことでしょうか？災害に苦しんでいる人を助け、環境破壊を止めることでしょうか？どれもが平和を創り出す大切な働きですが、残念ながら、簡単には参加できません。実は「平和を創り出す」場所は身近にあるのです。近所のお年寄りの話し相手になり、お腹を空かせた人に食べ物を届け、渴いた人にコップ1杯の水を差しだし、泣いている小さい子を助ける。身近にある場所や人に「小さな平和」を届けることです。時には、あなたを傷つけた人を赦し、意見の違う人に声をかけ、動きたくない疲れの中でも誰かに手を差し伸べ、勇気を出して「ごめんなさい」を伝え、「小さな平和」を広げるのです。平和を創り出す人とは、この「小さな平和」を少しずつ集め、広げる人です。ひとり一人は小さなカケラだとしても、それが集まって完成する「大きな平和のパズル」を知っていれば、パズルを完成させるのはイエス様だと知っていれば、皆様は「平和Peaceを創り出す小さなカケラa Piece」として用いられるのです。神様は「29ピース」の個性豊かな仲間をこの三育小学校に集めて下さり、夫々のユニークなピースがピッタリと収まる場所を用意されています。「大きな平和のパズル」をデザインされた神様は「小さなピース」の全てをご存知です。そして小さなピースを夫々任された場所にしっかりと収めることで、「平和のパズル」を完成させるのです。

『終わりに、兄弟(姉妹)たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。』(コリントの信徒への手紙Ⅱ 13章11節) 29のピースは個性的で、形も色も大きさも違いますが、いつも喜んで、励まし合い、思いを一つにして、ひとり一人が「小さな平和」を広げましょう。そうすれば、愛と平和の神様が小さなカケラを集めて、パズルを必ず完成なさるのです。

これから、皆様はそれぞれの道を歩きます。歩幅も速度も歩き方も違いますが、確かなことは「平和を創り出す人として歩き続ける」と約束したことです。たとえ、遠く離れて生活しても、忘れそうになっても、道から逸れそうになっても、この約束を胸に刻んで歩き続けている仲間がいることを決して忘れてはなりません。仲間たちを信じ、歩みの気配を感じて下さい。

皆様の夫々の歩みの先頭には、イエス様が必ず歩いておられる「約束」を信じ、祈りつつ、君たちをこの学び舎から「平和を創り出す人 Peacemakers」として送り出します。

2023年3月19日 卒業式式辞より



Tokyo San-iku Elementary School

Since 1898

東京三育小学校

校内行事報告

学 習発表会

今年度は学年ごとの保護者入れ替えではありませんでしたが、学習の成果を実際にご覧いただくことができ、「おうちの人にたくさんほめられました。うれしかったです。来年はもっとがんばります。」と作文に書く児童が多くいました。短時間ながらも保護者総会も開催でき、感謝いっぱいの日でした。



移 動教室

コロナ禍で延期になっていた4～5年生の移動教室は千葉県「練馬区立岩井自然少年の家」を拠点として行われました。2泊3日の間、5年生は朝夕の礼拝を担当し、4年生を助けて頑張りました。与えられた役割をそれぞれが果し、協力し合い、楽しむためにはどうすればよいか、各々が一生懸命考え、悩み、実践できました。レクリエーションの時間では「どんな上級生になりたいか」を全員が発表し、お互いが考えていることを共有しました。マザー牧場、草木染体験、鴨川シーワールド、光風台三育小学校との交流もできて思い出深い3日間になりました。



卒 業祈禱週

3月6日～10日に実施された祈禱週は、総題「29ピースのパズル」テーマ聖句：「マタイによる福音書5章9節「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」として、29名の6年生が証しをしてくれました。「神様のお導き」「感謝」「助けてくださる神様」「信じることの大切さ」「お祈りにこたえてくださる神様」「平和を創り出す者になりたい」など、聖句と共に一人ひとりが神様のメッセンジャーとして立てられました。各学年と音楽クラブの特別讃美歌も捧げられ、昼休みの「祈りの時間」と合わせて特別に祝福された1週間になりました。



卒 業生を送る会

伝統の5年生が企画・実施する「卒業生を送る会」です。今年度は全学年がチャベルに集い行われました。5年生はお世話になった6年生のために、2月下旬から飾りつけの準備、6年生へのインタビュー、プログラムの組み立てとシナリオ作り、教職員の卒業生へのメッセージの手配など、一人ひとりが多岐にわたる役割を担い、協力して創り上げました。また1～5年生が6年生を思って準備したプログラムも全員で見ることができました。寂しさを感じながらも温かい時間を共有しました。



卒 業式

3月19日(日)第74回卒業式を挙行了しました。今年も参列は卒業生のご家族のみで、在校生は各教室で配信映像を視聴する短縮した卒業式となりましたが、あられる恵みをもって成長させてくださった神様に感謝と賛美をお捧げる卒業式でした。音楽科講師の井上先生による「お祝いの歌」も捧げられました。神様によって集められた29名がみんなで選んで決めた卒業モットーである「マタイによる福音書5章9節」を心に刻み、神様が与えてくださった新しい場所で「Peacemakers」としてさらに光り輝いてほしいと思います。卒業式終了後は在校生全員が卒業生へ感謝の挨拶をし、名残惜しい時間でした。



3学期も皆様のお祈りに支えられ、無事に終わることができました。ご支援を感謝いたします。また、29名の卒業生も神様の祝福のうちに巣立ちました。4月6日まで春休みとなります。2023年度もどうぞよろしく願いいたします。